

塩尻ワインカードでPR

販路拡大へ
新たな試み

塩尻産ワインの情報
を銘柄ごと印刷したコ
レクションカード「ワ
インカード(ワイカ)」
を、塩尻市の一般社団
法人・信州アルプス大



塩尻産ワインの銘柄ごと発行
するワインカード(手前)

学校(中村剣代表)
と、同市洗馬の信濃ワ
イン(塩原悟文社長)

にヒントを得た。ワイ
カの表にワインの名前
とラベルの絵柄を、裏

ワインの情報記録
したいと考える愛飲家
のニーズに応えつつ、
カード特有の流通性が
広告塔となることを期
待してアルプス大学が
企画した。中村代表

が共同製作した。ワイ
ンの周知や販路拡大の
新たな切り口につなげ
たい考えで、来春をめ
どに、市内の他のワイ
ナリーにもカード発行
の協力を呼び掛ける。

にはブドウの種類や収
穫年、味のタイプ、ワ
イナリーの情報などを
載せている。赤ワイ
ン、白ワイン、ロゼの
違いはカードの色分け
で表した。当面は信濃

ワインの5銘柄のワイ
カを発行して該当ワイ
ンの購入者に贈るが、
他のワイナリーにも輪
をを広げてカードの種
を増やしたい考えだ。

トレーディングカー
ドと呼ばれる収集や交
換を目的としたカード

で表した。当面は信濃
ワインの5銘柄のワイ
カを発行して該当ワイ
ンの購入者に贈るが、

(50)は「ありそうでな
かったモデル。塩尻産
ワイン全体の底上げの
一助となれば」と話し
ている。

(有賀文香)

ラベル印刷5種500枚 信州アルプス大学が作製



塩尻ワインを紹介したトレーディングカードを持つ中村さん

塩尻ワインカードでPR

地域住民を講師に地域を知り、市桔梗ヶ原地区の信濃ワインと協力し、ワインラベルを印刷した「ワイントレーディングカード」が、同

「信州アルプス大学」が、同

刷した「ワイントレーディングカード」を發行、同社の売店でワイン購入者に配布している。カードを集めることで塩尻ブランドへの関心を高めてもらおう狙い。今後、同地区の他のワイナリーにも協力を呼び掛けていく考えだ。

カードは縦9センチ、横6・5センチで、表にワインのラベルを印刷し、裏面にブドウの品種や収穫年、販売元のワイナリーが記載されている。今回は「信濃ワインが販売している」「葡萄酒交響曲」と「信濃ワインデラックス」の5種計500枚を作った。

0枚を作った。

信州アルプス大学の学長で経営コンサルタントの中村剣さん(50)は、市観光協会が認定する塩尻観光ワインガイドも務め、塩尻ワインをどう広めか考えてきた。「ワイン好きにはラベルを剥がして収集する人もいるが、カードならやり手軽に集めることができ。他のワイナリーのカードも作って、塩尻ワインに親しんでほしい」と話している。